令和５年度

年間学習指導計画
及び
評価規準

＜ 第３学年 ＞

富山県立石動高等学校

富山県立石動高等学校　シラバス

科目名	日本史A	単位数	2	学科	商業科	学年	3
使用教科書	「高等学校 改訂版 日本史A」(第一学習社)		副教材等	「プロムナード日本史」(浜島書店) 「日本史Aノート」(第一学習社)			
科目の内容と到達目標	我が国の近現代の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付け，現代の諸課題に着目して考察させることによって，歴史的思考力を培い，国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。						

学　習　計　画　等

学　習　内　容	学 習 の ね ら い ・目 標	備考(学習活動の特記事項・副教材使用等)
第1部　私たちの時代と歴史 近代学習のはじめに ～日本のあゆみをふりかえろう～ 第2部　第1章　近代国家の形成と国際関係の推移 第1節　近代への胎動 〔中間考査〕 第2節　明治維新 〔期末考査〕 第3節　近代国家の確立	＜第1部＞ ・近代の学習に入る前に、原始から近世までを総復習する。 ＜第2部　第1節＞ ・江戸時代の日本の対外関係について理解する。 ・近世後半の産業，教育や学問・思想などの発展について理解し，さらに，これらが近代文化の基盤となったことを理解する。 ・江戸時代後期の幕藩体制の動揺と諸藩の改革について理解する。 ＜第2節＞ ・開国に至る経緯と，幕府の対応について理解する。 ・開国以後の情勢について，幕府が崩壊した一連の流れを理解する。 ・幕末から明治初期の使節・留学生の派遣，外国人の招聘により欧米文化が導入されたことを理解する。 ＜第3節＞ ・明治政府の初期の諸政策によって，近代日本の基礎が形成されたことを理解する。 ・明治政府の中央集権化・藩閥専制の傾向に対し，自由民権運動がおこり，国民の政治的関心が高揚し憲法制定・国会開設に至る，一連の動きを理解する。 ・初期の外交政策は，欧米に対しては不平等条約の改正，一方，アジア諸国に対しては強硬な態度で臨んだことを理解する。 ・この時期に，日本の領土が国際的に確定したことも理解する。	・「プロムナード日本史」(浜島書店) ・「日本史Aノート」(第一学習社)
第4節　国際関係の推移と近代産業の発展 〔中間考査〕 第2章　両大戦をめぐる国際情勢 第1節　第一次世界大戦と日本 〔期末考査〕 第2節　第二次世界大戦と日本	＜第4節＞ ・明治前半では，条約改正が最大の外交課題であり，この克服においては，国際情勢と国内情勢が密接に関係し，進められたことを理解する。 ・日清・日露戦争の経緯と結果，また，この戦争を経て，アジアに対して日本が勢力の拡張をおこなったことを理解する。 ・日清・日露戦争期において，政党政治が展開したことを理解する。また，日露戦争後の国民の負担や，政府による精神的な引き締めについて理解する。・日清・日露戦争の過程で，日本に産業革命がおこり，資本主義が確立したことを理解する。 ・資本主義の発展によって産業構造が変化し，これにともない，都市における貧民問題や労働問題など，さまざまな社会問題が発生したことを理解する。 ・教育の普及，また，国民統制において，教育政策や国家主義的思想がはたした役割について理解する。 ・明治の学問と芸術の成果について理解する。その背景として，お雇い外国人や留学生の存在についても理解する。 ＜第2章　第1節＞ ・第一次護憲運動・第二次護憲運動をはじめとする民衆運動の盛り上がりと，大正期における政党政治の展開について理解する。 ・第一次世界大戦に日本が参戦した意図，日本の外交方針の推移について理解する。 ・第一次世界大戦後，国際的に民族運動が高まったことについて理解する。 ・第一次世界大戦が日本に与えた経済的な影響について理解する。 ・大正期にさまざまな社会運動が活発になったこと，女性解放運動もすすんだことを理解する。 ・大正デモクラシーの風潮のなか，あらたな学問・芸術が生まれたこと，都市の発展などを背景に大衆文化が誕生したことを理解する。 ＜第2節＞ ・国内的な第一次世界大戦以後の慢性的な不況と，国際的な世界恐慌による資本主義諸国の経済危機について把握し，日本および各国が，このような状況をどのように克服していったのかを理解する。 ・軍部の台頭の過程と，これにともなう政治的な状況の変化について理解する。 ・中国・アメリカを中心とした国際関係の変化にも着目しながら，太平洋戦争に至る過程を理解する。 ・太平洋戦争に至る過程のなかで，国民生活はどのように変化したのかを理解する。・日本がアジア諸国に対して与えた影響について理解する。	・「プロムナード日本史」(浜島書店) ・「日本史Aノート」(第一学習社)
第3章　現代の日本と世界 第1節　日本の再出発 第2節　独立後の政治と経済の発展 第3節　現代の日本と世界	＜第3章　第1節＞ ・第二次世界大戦後の連合国による対日占領政策，民主化の諸改革の内容について理解する。 ・日本国憲法について，その制定までの過程や内容の特徴を理解する。 ・戦後の深刻な国民生活の実態について理解する。 ・敗戦後の国民生活について，食料不足などの危機的状況にあったことを理解する。一方で，アメリカ文化をはじめとするあらたな文化的動向についても理解する。 ・日本の経済復興の過程を理解する。 ・国際的な冷戦のはじまりと，日本に対する占領政策の転換からサンフランシスコ平和条約の締結に至る経緯と背景について，理解する。 ＜第2節＞ ・主権回復後の日本の国内的な政治の推移と，新しい外交関係の確立の動きについて理解する。 ・高度経済成長の実態と，その歴史的意義について理解する。また，高度経済成長期には，経済発展の一方で，都市化，農山漁村の過疎化，公害の発生など，さまざまな社会問題が表面化したことを理解する。 ・高度経済成長期において，科学技術の発達，産業構造の変化，消費の拡大など，これを機におきた変化の内容について理解する。 ＜第3節＞ ・石油危機にともなう日本国内の動きを，国際情勢の動向をふまえて，理解する。 ・1970年代以降の消費生活の変化，その背景としての家族形態の変化について理解する。 ・国際的な冷戦の終結後の世界情勢と，国内的な55年体制の崩壊について理解する。 ・現在の日本がかかえる諸課題について，国際社会での役割，国内的な問題という面から理解する。 ・1990年代以降の国民生活については，経済的背景としての雇用状況の変化，また，ネットワークの発展が大きなキーワードであることを理解する。	・「プロムナード日本史」(浜島書店) ・「日本史Aノート」(第一学習社)

提出物・課題等
・「日本史Aノート」(第一学習社)　・授業ノート

評価方法

各学期の考査評価・課題への取り組み状況・授業態度などの総合評価

科目名	日本史B	単位数	4	学科	普通科	学年	3
使用教科書	日本史B新訂版(実教出版)	補助教材	・新詳日本史(浜島書店)　・日本史B重要語句Check List2022(啓隆社) ・日本史B新訂版演習ノート(実教出版)				
科目の内容と到達目標	我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察させ、我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。						

学　習　計　画　等

学　習　内　容	学 習 の ね ら い ・目 標	備考(学習活動の特記事項・副教材使用等)
第Ⅲ部　近・現代 **第9章　近代への転換** 1.開国 2.明治維新 3.四民平等と富国強兵 4.初期の外交と国内政治 5.文明開化 **第10章　近代国家の形成** 1.民権運動の展開 2.立憲政治への道 3.初期議会と日清戦争 4.政党の進出と日露戦争 5.産業革命と社会の変化 6.近代文化の形成と展開	・開国から明治維新に至る経緯について国際関係をふまえた上で年表や諸資料を基に理解する。また，新政府の成立と統一国家の成立について諸資料を基に考察し理解する。 ・身分，税制，金融など諸制度の改革や富国強兵・殖産興業政策に着目して，近代化を図る明治新政府の政治的改革・国家的統一過程を考察し理解する。 ・琉球・朝鮮に対し軍事力を用いて国境を画定させた一方，ロシアをはじめ欧米には平和的交渉で国境を画定させたことを理解する。岩倉使節団の派遣について考察する。 ・欧米文化の受容による文明開化について諸資料より理解する。近代化を進める上で教育の普及や外国人教師の導入について着目するとともに，宗教政策についても考察する。 ・士族反乱の後，自由民権運動のはじまりから明治14年の政変，松方財政,激化事件を経て大同団結運動に至る経緯と国会開設に向かう動きについて資料を通じて考察し理解する。 ・大日本帝国憲法の制定と法律の整備,国家機構及び地方制度の確立について,諸資料より考察し理解する。 ・初期議会の政府と民党のそれぞれの主張を考察し，議会の展開について理解する。 ・朝鮮問題を機とする日清戦争の経緯とその後の東アジア情勢及び条約改正への影響について諸資料を活用し考察する。 ・帝国主義の時代となり,中国の分割が進められ,利権をめぐり日露戦争が起こったこと,朝鮮の植民地化やその後の外交政策について諸外国の動向と関連づけて考察し理解する。 ・日清・日露戦争前後にかけて資本主義が進展し,産業革命や近代産業が発展したこと,一方で,労働問題や社会問題が深刻化したことなどについて諸資料を通じて理解する。 ・近代文化の形成と展開について教育・メディア・思想・宗教・科学・文学・芸術の面から諸資料を基に理解する。	・新詳日本史 ・日本史B要語句Check List2022 ・日本史B新訂版演習ノート
第11章　両大戦間の日本と市民文化 1.第一次世界大戦 2.大戦後の内外環境 3.政党政治の展開 4.市民文化の展開 **第12章　十五年戦争** 1.満州事変 2.日中戦争 3.アジア･太平洋戦争 **第13章　現代の日本と新しい文化** 1.占領と民主政策 2.サンフランシスコ講和会議と安保体制 3.高度経済成長下の日本 4.経済大国日本と国民生活 5.世界史の転換と日本	・第一次世界大戦前後の政治動向と中国侵略政策について国際関係をふまえて理解する。 ・第一次世界大戦が日本の社会・経済や政治に及ぼした影響について確認するとともに,大正デモクラシーの風潮と政党政治の進展やワシントン体制の確立など国際関係について諸資料を通して理解する。 ・市民文化の展開についてデモクラシー思想・学術の発展・文学・芸術の面から理解する。 ・昭和恐慌が深刻化する中でおこる満州事変とファシズムの台頭と日本の国際的孤立について世界史的視野に立ち考察し理解する。 ・満州事変から日中戦争へと進展する経緯と軍部による全体主義的な国家体制への転換及び国民生活について諸資料より考察する。 ・アジア・太平洋戦争についてその経過と総力体制に組み込まれていく国民生活について諸資料より理解する。戦争の損害・犠牲・惨禍についてはアジア諸国も含めて確認する。 ・戦後の世界秩序をふまえ，占領政策及び戦後の民主化政策とそれに伴う諸改革について，その経過と内容を理解する。また,日本国憲法制定の意義について理解する。 ・冷戦の本格化が進む中で占領終結・日本の独立の意義について考察し,その後の日米関係・日米安全保障の意味を理解する。 ・朝鮮戦争の特需による経済復興とその後の高度経済成長について，ベトナム戦争・沖縄返還・日中国交正常化などの出来事に着目して考察するとともに，経済成長がもたらしたひずみである公害・社会問題について考察する。 また,沖縄の基地問題について確認する。 ・IMF体制の崩壊と石油危機により高度経済成長の時代が終焉し,緩やかな経済成長を続ける日本における国内の経済・政治の動向を国際情勢の変化をふまえて理解する。 ・冷戦体制の終結とそれに関わる国際関係・世界情勢と国内の状況について，日本の政治・外交・経済・生活文化面をふまえて考察する。	

提出物・課題等

・授業ノート　　・重要語句Check List　　・日本史B演習ノート

評価方法

各学期の考査評価・課題への取り組み状況・授業態度などの総合評価

富山県立石動高等学校　シラバス

科目名	地理A	単位数	2	学科	商業科	学年	3
使用教科書	・『高等学校 地理A 新版 ー世界に目を向け，地域を学ぶ』(第一学習社) ・『標準高等地図』(帝国書院)		副教材等	・『新詳地理資料　CONPLETE』(帝国書院)			
科目の内容と到達目標	現代世界の地理的な諸課題を地域性や歴史的背景，日常生活との関連を踏まえて考察し，現代世界の地理的認識を養うとともに，地理的な見方や考え方を培い，国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。						

学　習　計　画　等

学　習　内　容	学 習 の ね ら い ・目 標	備考(学習活動の特記事項・副教材使用等)
第1編　現代世界の特色と諸課題の地理的考察 1章　地球儀や地図でとらえる現代世界 ①球面で世界を考えよう ②世界地図の特徴を知ろう ③世界観の広がりと地図 ④国家の領域と領土問題 ⑤国家をこえた結びつき ⑥交通機関の発達と縮小する地球世界 ⑦情報・通信で一体化する世界 ⑧人・「もの」・資本で結びつく世界 2章　世界の人々の生活を取りまく地理的環境 ①さまざまな環境のなかで暮らす人々 ②世界的視野から見た地形 ③さまざまな地形と生活 ④世界的視野から見た気候 ⑤世界の気候と生活 ⑥世界の民族・宗教と生活・文化 ⑦生活・文化を支える産業の地域性 3章　世界の諸地域の生活・文化と環境 ①東アジアの暮らしを学ぶ	・グローバル化が急速に進んでいる現在では，平面で認識していた世界を，地球という球面で考えていかなければならないことを，地図を使った作業をとおして学習する。 ・国家とは何かを考える。交通・通信の発達によって，生活，社会，産業などの関係がどのように変わってきたかを理解する。人・「もの」・資本の移動により，国際貿易，国家間の結合などが活発化・複雑化していることを理解する。 ・人々の生活様式の差異を，地理的環境とのかかわりから理解する。 ・さまざまな地形上で営まれている人々の生活とそのかかわりについて学習し，世界の気候帯ごとに，どのような特徴があり，どのような生活が営まれているのかを学習する。世界の人々がもつ民族性や言語，宗教を教科書に掲載されている写真・地図を適切に使用して理解し，現在発生している民族問題の本質を考察する。 ・世界の農業・鉱工業について，発達過程を地理的環境との関連で理解する。 ・広い視野から異文化を理解・尊重する態度を養う。 ・中国の自然と農業を踏まえ第二次世界大戦後営まれてきた人々の生活・文化が，近年の経済発展でどのように変化してきたのかを理解し，中国と日本の相互依存関係についてまとめる。韓国について，第二次世界大戦後の朝鮮半島の歩みや自然環境，激変した韓国経済と社会や生活・文化に注目し，大衆レベルでの日韓交流と将来の日韓関係について考察する。	・『新詳地理資料　CONPLETE』(帝国書院)の対応ページ
②東南アジアの暮らしを学ぶ ③南アジアの暮らしを学ぶ ④北アフリカ・西アジア・中央アジアの暮らしを学ぶ ⑤中南アフリカの暮らしを学ぶ ⑥ヨーロッパの暮らしを学ぶ ⑦ロシアと周辺諸国の暮らしを学ぶ ⑧北アメリカの暮らしを学ぶ ⑨中央・南アメリカの暮らしを学ぶ ⑩オセアニアの暮らしを学ぶ 4章　私たちが直面する地球的課題 ①地球的課題の地理的な側面 ②人口問題 ③食料問題 ④都市・居住問題 ⑤資源・エネルギー問題 ⑥地球環境問題 ⑦地球的課題への取り組みと国際協力	・東南アジアという地域に注目し，農業などに大きく影響する自然環境や，現在の民族・宗教分布とその背景を知識として身につけ，伝統と高い経済成長による変化ついて理解を深める。 ・インドを中心とした南アジアという地域に注目し，そこに暮らす人々の民族・宗教分布の背景を学び，特にインドの宗教と密接に関連した生活と変化について，理解を深める。 ・ネグロイド系の人々が多く暮らす中南アフリカに注目し，現在の国家や産業に植民地支配の傷跡が残っていることを主な国の具体例などから学び，その課題に向けてとられている対策を理解する。 ・ヨーロッパの中の自然環境の違いやたどってきた歴史の違い，すなわち地域性を学び，一体化の進むヨーロッパ社会の現状を，EUの結びつきの過程などから理解する。 ・ロシアとその周辺諸国について，ソ連時代からCISにいたるプロセスや解体後のロシア人の生活・文化と産業などの変化を学習する。 ・移民の国アメリカ・カナダに注目し，アメリカの移民社会と現在の多文化社会の特徴が，産業・大衆文化の形成にどのような影響を与えてきたかを理解するとともに，アグリビジネスやICT産業に代表されるアメリカの先進性について，理解を深める。 ・先住民や移民，混血など多様な人種・民族からなる中央・南アメリカの社会について，混血の国ブラジル，先住民の国ペルー，白人国家アルゼンチンを具体例に，その地域の課題も含めて理解する。 ・太平洋圏としてのオセアニアについて，その位置関係，自然環境，民族移動の歴史を学び，多文化社会のオーストラリア・ニュージーランドを中心に，結びつきを強めているオセアニア地域について考察する。 ・現在，直面している地球的課題にはどのようなものがあるかに注目し，それらは相互に関連し，地域によって現れ方が異なることを理解する。現在，直面している地球的課題にはどのようなものがあるかに注目し，それらは相互に関連し，地域によって現れ方が異なることを理解する。 ・国際社会の中で日本が果たすべき役割を認識し，国際協力について,グローバルに考える視点と身近な問題として考える視点を身につける。	・『新詳地理資料　CONPLETE』(帝国書院)の対応ページ
第2編　生活圏の諸課題の地理的考察 1章　日常生活と結びついた地図 ①地図をもって生活しよう ②身近な地図を読みこなそう ③地図表現について考えよう ④地形図を活用しよう 2章　自然環境と防災 ①日本の自然と生活 ②自然災害に備えた暮らし 3章　生活圏の地理的な諸課題と地域調査 ①地域調査の方法 ②水とともに暮らすまち「白山市」を考える	・観光マップや所要時間マップ，バス路線図や古地図など，教科書に掲載されている地図を関心をもって参照し，また身近にあるさまざまな地図を収集して，地図を読むことの楽しさを理解する。地理の言語としての地図，作成者の意図により取捨選択されている地図について，現在はGISや帰宅支援マップ，3次元地図，触地図などさまざまな種類の地図が発行されていることから，目的に応じた地図選択の重要性を理解する。 ・地形図の特徴について理解するとともに、地形図を読む際の決まりごとを知識として身につけ，地形図を使って断面図を描き，また新旧地形図から地域の変化を読み取ることを学習する。 ・教科書に掲載されている写真や地図・図版を適切に参照し，自然災害が多発する日本列島に，豊かな文化が築かれた背景を考察する。 ・生活に影響を与えている気候や地形の特徴について理解する。 ・自然災害の多い日本列島で，人々の生活に大きな影響を与える火山災害・水害・地震について，現象やこれまで受けてきた被害を理解するとともに，先人の知恵が詰まった，災害に備え，災害とともに暮らす生活について関心をもって考察する。 ・自然災害に備えるためにはハザードマップや緊急地震速報の有用性を認識するとともに，災害に強い地形や環境について理解し，災害に見舞われた際になるべく減災できるよう，地域防災力を高める。 ・地域調査について，積極的な調査を実施できるよう，地域調査の必要性を理解し,地域調査の基本を身につける。 ・地域調査を通して，河川は災害だけでなく豊かな生活にも恵みを与えていることに気づき，古くから人々は水の恵みを得るための工夫をこらし，災害をいなしながら生活してきたことを理解する。	・『新詳地理資料　CONPLETE』(帝国書院)の対応ページ

提出物・課題等
・適宜配布する課題プリントを提出

評価方法
・各学期の考査評価・課題への取り組み状況・授業態度などの総合評価

富山県立石動高等学校　シラバス

科目名	地理B	単位数	4（文） 2（理）	学科	普通科	学年	3
使用教科書	『新詳地理B』（帝国書院） 『新詳高等地図』（帝国書院）		副教材等	・『最新地理図表GEO』（第一学習社） ・『サクシード地理』（九州高等学校地理教育研究会） ・『新地理の研究』（九州高等学校地理教育研究会）（文系） ・『NEW COM.-PASS　ノート地理』（とうほう）（理系）			
科目の内容と到達目標	現代世界の地理的事象を系統地理的に考察し，現代世界の地理的認識を養うとともに，現代世界の諸地域を，歴史的背景を踏まえて地誌的に考察し，現代世界の地理的認識，地理的な見方や考え方を培い，国際社会に主体的に生きるための自覚と資質を養う。						

学　習　計　画　等

学　習　内　容	学 習 の ね ら い ・目 標	備考（学習活動の特記事項・副教材使用等）
3章　人口，村落・都市 1節　世界の人口 2節　人口問題 3節　村落と都市 4節　都市・居住問題 4章　生活文化、民族・宗教 1節　生活文化 2節　民族と宗教 3節　現代世界の国家 4節　民族・領土問題 第Ⅲ部　現代世界の地誌的考察 1章　現代世界の地域区分 2章　現代世界の諸地域 1節　地域の考察方法 2節　東アジア 3節　東南アジア 4節　南アジア	・世界の人口について、世界人口の分布の特色や動態、人口構成や人口転換を考察する。 ・世界の人口問題を大観し、発展途上国、先進国、日本の人口問題の事例を考察する。 ・村落と都市について、立地や発達・機能、日本の都市の特徴を考察する。 ・世界の都市・居住問題を大観し、その要因を考察するとともに、解決には何が必要かを考察する。 ・生活文化・民族と宗教について、分布や地域的差異を理解するとともに、その画一化について考察する。 ・現代世界の国家やその領域について理解するとともに、民族・領土問題を大観し、民族や領土とその共生について考察する。 地域区分の意義を理解し、多様な事象を整理して考察したり、他の事象を関連づけて考察するなどの地誌の考察方法を理解する。 ・アジアの諸地域について、地形やモンスーンなど自然環境と生活文化の結び付きを考察するとともに、産業や人口など多様な事象を項目ごとに整理して静態的に考察する。	・『サクシード地理』と板書を併用し，必要に応じて『最新地理図表GEO』の写真や図表等を活用する。また，適宜地図帳で学習内容の確認を行う。 ・『最新地理図表GEO』のワークノートを用い，地形図の学習をする。
5節　西アジアと中央アジア 6節　北アフリカとサハラ以南のアフリカ 7節　ヨーロッパ 8節　ロシア 9節　アングロアメリカ 10節　ラテンアメリカ 11節　オセアニア	・西アジア・中央アジアやアフリカについて、気候や宗教、歴史的背景など事象と生活文化の結び付きを理解するとともに、民族問題や一次産品への依存など、これらの地域が抱える課題を整理して考察する。 ・ヨーロッパという地域的区分から、気候や地形と生活文化の関わりを大観するとともに、工業や資源などの理解をふまえて域内の結び付きについて考察する。 ・自然環境のほか、植民地支配などの歴史的背景と生活文化の結び付きを考察するとともに、多様な価値観が混在する地域の現状や課題を理解する。 ・一つの大陸と太平洋の島々，移民の歴史と多文化社会，強まるアジアとの結びつき，アジア諸国に輸出される資源という特色ある事象と他の事象を有機的に関連づけて動態的に考察する。	・『サクシード地理』と板書を併用し，必要に応じて『最新地理図表GEO』の写真や図表等を活用する。また，適宜地図帳で学習内容の確認を行う。 ・『最新地理図表GEO』のワークノートを用い，地形図の学習をする。
3章　現代世界と日本	・現代世界における日本の特色について，多面的・多角的に考察し，日本が抱える地理的な諸課題を探究する活動を通して，その解決の方向性や将来の国土のあり方などについて展望する。	『サクシード地理』と板書を併用し，必要に応じて『最新地理図表GEO』の写真や図表等を活用する。また，適宜地図帳で学習内容の確認を行う。

提出物・課題等
・『新地理の研究』（文）・『NEW COM.-PASS　ノート地理』（理）は考査の範囲となるので，各考査後に提出
・『サクシード地理』とノートは適宜提出

評価方法
・各学期の考査評価・課題への取り組み状況・授業態度などの総合評価

科目名	現代社会	単位数	2	学科	商業科 B類型	学年	3
使用教科書	『高等学校　改訂版　現代社会』 （第一学習社）		副教材等	『最新図説現社』（浜島書店） 『ニューコンパスノート　現代社会』（東京法令出版）			
科目の内容と到達目標	人間の尊重と科学的な探究の精神に基づいて，広い視野に立って，現代の社会と人間についての理解を深めさせ，現代社会の基本的な問題について主体的に考察し公正に判断するとともに自ら人間としての在り方生き方について考察する力の基礎を養い，良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。						

学　習　計　画　等

学　習　内　容	学 習 の ね ら い ・目 標	備考（学習活動の特記事項・補助教材使用等）
第1編　私たちの生きる社会 ①環境と私たちの生活 ②資源・エネルギー問題と私たちの生活 ③科学技術の発達と私たちの生命 ④高度情報社会と私たちの生活 第2編　現代社会と人間としてのあり方生き方 第1章　青年期と自己の形成 ①青年期の意義と自己形成の課題 ②現代社会における青年の生き方 ③伝統や文化と私たちの生活 第2章　個人の尊重と法の支配 ①民主政治における個人と国家 ②基本的人権と法の支配 ③世界のおもな政治体制 第3章　現代の民主政治と政治参加の意義 ①日本国憲法の基本原理 ②平和主義と安全保障 ③基本的人権の保障と新しい人権 ④国民主権と議会制民主主義 ⑤内閣と行政の民主化 ⑥裁判所と人権保障	・諸課題を考察させることを通して，幸福，正義，公正など社会のあり方を考察する基盤を理解する。 ・人生の中で青年期はどのような意味をもつのか，青年期の心理の特徴について理解し，一人前の人間として自立するためには何をしたらよいかを考える。 ・私たちの生活と政治や国家のかかわりについて関心を高め，国家はどのような考え方を背景につくられたのかを理解する。 ・日本国憲法の成立過程や明治憲法との比較，天皇の地位の変化，日本国憲法の三つの基本原理について主体的に理解する。 ・国会の地位と構成，権限について理解する。 ・議院内閣制のしくみ，内閣総理大臣の権限，行政の民主化について理解する。	・『最新図説現社』（浜島書店） ・『新現代社会ワークノート』（第一学習社） （各対応ページ）
⑦地方自治と住民の福祉 ⑧世論形成と政治参加 第4章　国際政治の動向と日本の役割 ①国家主権と国際法 ②国際連合の役割 ③今日の国際社会 ④核兵器の廃絶と国際平和 ⑤国境と領土問題 ⑥地域紛争と人種・民族問題 ⑦外交政策と日本の役割 第5章　現代の経済社会と私たちの生活 ①経済社会と経済体制 ②現代の企業 ③市場経済のしくみ ④経済成長と景気変動 ⑤政府の経済的役割と租税の意義 ⑥金融機関のはたらき ⑦戦後の日本経済の動き ⑧産業構造の変化 ⑨雇用と労働問題 ⑩公害の防止と環境保全 ⑪消費者保護と契約 ⑫社会保障と国民福祉	・勢力均衡と集団安全保障体制の違いについて考え，国連の役割と課題について理解する。 ・核兵器を廃絶するには何が必要かを考え，核兵器の開発・拡散の状況,廃絶するためのさまざまな取り組みについて，具体的事例をあげて多角的に考察する。 ・国境と領土問題，特に日本の領土問題についての知識を身につける。 ・なぜ人種や民族の違いにより争うのかを主体的に考え，人種・民族紛争の実態，難民問題について理解する。 ・国際社会の一員として何をすべきかを理解する。 ・経済の基本的なしくみと資本主義経済，社会主義経済の特徴を理解する。企業・家計・政府はどのような活動をしているか，企業の社会的責任について理解する。市場経済，価格機構のしくみについて理解する。景気変動について理解する。経済成長は生活にどのような変化を与えるかを，具体的事例をあげて考察する。 ・財政政策の意義，日本の財政の課題を理解し，財政のしくみ，租税の意義と課題について，具体的に事例をあげて考察し，主体的に考える。 ・技術革新の進展による生活の変化，産業構造の変化，経済のサービス化・ソフト化について，身近な問題と関連させて考察する。 ・日本の公害問題について理解し，公害問題と公害に対する国や企業の対応，公害を防止し環境を保全するための方策について考える。 ・雇用事情の変化とさまざまな労働問題や，消費者問題について，自分自身の問題として具体的事例をあげて考察する。	・『最新図説現社』（浜島書店） ・『ニューコンパスノート　現代社会』（東京法令出版） （各対応ページ）
第6章　国際経済の動向と日本の役割 ①国際経済のしくみと貿易の拡大 ②国際経済の動向 ③発展途上国の経済と南北問題 ④国際協調と日本の役割 第7章　民主社会に生きる倫理 ①豊かな人生を求めて ②日本の伝統的なものの考え方 ③西洋の自然観と人間観 ④私たちの課題 第3編　ともに生きる社会をめざして ケーススタディ① 税と社会 ケーススタディ② 発展途上国の貧困問題の解決をめざして ケーススタディ③ 人口問題と私たちの未来	・貿易の意義，円高・円安の生じる理由，経済のグローバル化について考える。地域的経済統合をはかる動きが見られることを理解しそれによって何がもたらせるかを理解する。国際協力のあり方，国際経済の中での日本の役割について自分自身の問題として考える。 ・哲学や宗教の役割を理解するとともに，人生を豊かに生きるとはどういうことなのかを多角的に考察する。 ・日本の伝統意識を理解し，生活の中での仏教や儒教，西洋思想の影響について，具体的事例をあげて考察する。 ・平等な社会の実現には，偏見を取りのぞき，主体的に努力することが求められていることを理解する。 ・差別を生み出す偏見について考え，それを克服して，ともに生きるために私たちは何をすべきか，自分自身の問題として考える。 ・教科書に掲載されている図版や写真・資料などを適切に使用し，1枚の給与明細から税について考察したり，フェアトレードを通して貧困問題を考察したり，人口問題を通して私たちの未来を考察したりする。	・『最新図説現社』（浜島書店） ・『ニューコンパスノート　現代社会』（東京法令出版） （各対応ページ）

提出物・課題等
・『ニューコンパスノート　現代社会』（東京法令出版）は各考査後に提出
・授業プリントは適宜提出

評価方法

各学期の考査評価・課題への取り組み状況・授業態度などの総合評価

富山県立石動高等学校　シラバス

科目名	体育	単位数	2	学科	普通・商業	学年	3
使用教科書	現代高等保健体育　改訂版（大修館書店）		副教材等	アクティブスポーツ（大修館書店）			
科目の内容と到達目標	運動の合理的、計画的な実践を通して運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続するために、運動の多様性や体力の必要性を理解し、技能を身につけるようにするとともに、課題を発見し、合理的・計画的な解決のため他者に伝える力を養う。また、運動における競争や協働の経験を通して公正・協力・責任・参画・共生などに対する意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。						

学　習　計　画　等

運動領域	学　習　内　容	学 習 の ね ら い ・目 標	備考（学習活動の特記事項・副教材使用等）
体つくり運動	体ほぐしの運動 体力を高める運動	・体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体つくり運動の行い方などを理解するとともに、実生活に役立てること、生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題に取り組み、考えたことを他者に伝え、主体的に取り組み、協力・参画・共生などの意欲を育み、健康・安全を確保できる	
陸上競技	短距離走 　50m走・100m走 持久走 　男子：1500m走 　女子：1000m走	・多様な楽しさと喜びを味わい、技の名称や行い方などを理解するとともに、各種目特有の技能を身につけること、生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題に取り組み、考えたことを他者に伝え、主体的に取り組み、公正・責任・共生などの意欲を育み、健康・安全を確保できる	
球技	選択制体育 第1期　サッカー 　卓球 　バドミントン 　テニス 第2期　ユニホック 　バスケットボール 　卓球 　テニス	・勝敗を競ったりすることを通して得られる楽しさや喜びに加えて、「する、みる、支える、知る」などのスポーツの多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方などを理解するとともに、仲間と連携しゲームを展開すること、生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題に取り組み、考えたことを他者に伝え、公正・協力・責任・参画・共生などの意欲を育み、健康・安全を確保できる	
体育理論	豊かなスポーツライフの設計 1. 生涯スポーツの見方・考え方 2. ライフスタイルに応じたスポーツ 3. 日本のスポーツ振興 4. スポーツと環境	・ライフスタイルに応じて、生涯にわたってスポーツと豊かにかかわるためのスポーツライフの設計のしかたを理解する	

提出物・課題等

評価方法
- おもに行動観察により、意欲・態度・服装、集団の中の役割の果たし方や他者との協力の様子を評価
- 行動観察や実技テスト等で運動技能を評価
- ワークシート等で思考・判断や知識・理解の状況を評価

富山県立石動高等学校　シラバス

科目名	家庭総合	単位数	2	学科	商業	学年	3
使用教科書	7実教　家総309　家庭総合 パートナーシップでつくる未来		副教材等	ニュービジュアル家庭科　資料＋成分表 とやまの高校生ライフプランガイド			
科目の内容と到達目標	人の一生と家族・家庭、子どもの発達と保育、高齢者の生活と福祉、消費生活、衣食住などに関する知識と技術を総合的に習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、家庭生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。						

学　習　計　画　等

学　習　内　容	学 習 の ね ら い ・目 標	備考（学習活動の特記事項・副教材使用等）
家庭総合を学ぶにあたって　再確認 ー生活に生かそう―ホームプロジェクト（HP）と学校家庭クラブ活動ー 2編　生活をつくる 2章　衣生活をつくる 　7：衣服をつくろう　被服製作 第1章　食生活をつくる 　4：食品の選び方と安全 　5：調理の基礎・調理実習1 1編　人とかかわって生きる 第2章　子どもとかかわる 　5：すこやかに育つ環境 第3章　高齢者とかかわる 　1：高齢社会に生きる私たちの暮らし 　2：高齢者を知る 【中間考査】 【期末考査】 ・ホームプロジェクト計画	・一日家事労働体験（GW中の課題）を通して、多様化する家族像・自立・労働などについて理解する。 ・家庭経営の立場から家族の日常の衣生活に必要な被服に関する基礎的知識や技術を習得し、衣生活を計画的・合理的に営み、その充実向上を図る能力を伸長する。 ・自分の食生活の現状を把握し、食と健康のかかわりについて考える。 ・食品の栄養的特徴と調理上の性質、食の安全について理解する。 ・健康で安全な食生活を営むための食物に関する基礎的知識や技術を身につけ、実践することができる。 ・班員で協力して、安全かつ衛生的に調理実習を行うことができる。 ・乳幼児の発達の特徴を、家庭や環境との関わりをとおして理解し、子どもの成長に関わる立場である親や家族の役割と責任について考える。 ・加齢による高齢者の心身の特徴について知り、高齢者の自立を支える家族の役割と責任を考える。 ・シニア体験などへの取り組みをとおして高齢者の身体状況への理解を深め、相手の立場や気持ちを思いやることは自分を大切にすることでもあることを理解する。 ・ホームプロジェクトを計画に基づき、自主的に解決を目指して実践することができる。 ・学校家庭クラブ活動について、日ごろの学びも含め、積極的に実践することができる。	とやまの高校生 ライフプランガイド 被服製作 調理実習
・ホームプロジェクトの製作・発表・評価 1編　人とかかわって生きる 第4章　社会とかかわる 　1：支えあう暮らしとは 　2：私たちの社会福祉 　3：共に生きる、地域の防災力を高めよう 　　防災食をつくる 2編　生活をつくる 第1章　食生活をつくる 　5：食事の計画と調理　調理実習2 　6：これからの食生活を考える 2編　生活をつくる 第3章 住生活をつくる 　1：人と住まいのかかわり 　2：住まいと住まいの文化 　3：住まいを計画する 　4：健康的で安全な住まい環境 　5：これからの住まいを考える 【中間考査】 【期末考査】	・ホームプロジェクトの発表を通して、自分の考えを人にわかりやすく伝える方法を学ぶ。級友の発表を聴く姿勢も育てる。 ・ともに生きるノーマライゼーションの考え方を基礎に、障害者や高齢者への理解を深め、社会の一員としてどのようにかかわっていけばよいか考える。 ・防災についての意識を高める。 ・SDGsの視点から献立作成をし、環境に配慮した消費者行動について理解する。 ・班員で協力して、安全かつ衛生的に調理実習を行うことができる。 ・家庭経営の立場から、家族の日常の食生活に必要な食物に関する基礎的知識や技術を習得させ、食生活を計画的・合理的に営み、その充実向上を図る能力を伸長する。 ・自分の日常生活を振り返り、その生活行為と生活時間のつながりや住まいの機能について理解する。 ・住生活と環境、住居の設計などに関する知識を身につけ、自分や家族の１日の生ライフステージに応じた、快適な住生活について考える。 ・自分に適した住空間について考え、デザインできる。 ・身近な地域の住環境について分析し、「住みよい環境」のためには何が必要か考える。	とやまの高校生 ライフプランガイド 調理実習
1編　人とかかわって生きる 第1章 自分らしい生き方と家族 　ライフプランを計画する 【学年末考査】	・ライフプランガイドを用い、自分の未来を描く。 ・自分の生活を見直し、生活設計ができる。	とやまの高校生 ライフプランガイド

提出物・課題等
　ホームプロジェクト、ワークシート、プリント等

評価方法
　各学期の考査評価、各単元での実習への取り組み、作品提出及び課題プリントなどを総合評価する。
　（グループワークを通して、幅広い視点で生活を改善しようとする意欲や態度等を含む）